

栃木市図書館計画(第2期)(素案)パブリックコメントの結果

平成29年12月28日

1. 実施状況

実施期間:平成29年11月28日(火)～平成24年12月27日(水)

資料の公表:生涯学習課・市政情報センター・

大平地域づくり推進課・藤岡地域づくり推進課・都賀地域づくり推進課・

西方地域づくり推進課・岩舟地域づくり推進課・

栃木公民館・大宮公民館・皆川公民館・吹上公民館・

寺尾公民館・国府公民館・

栃木市栃木図書館・栃木市大平図書館・栃木市藤岡図書館・

栃木市都賀図書館・栃木市図書館西方館・栃木市図書館岩舟館・

市ホームページ

2. 意見の提出者数 1人

・受付区分

郵送	ファックス	電子メール	直接提出	合計
0人	0人	0人	1人	1人

・居住区分

市内	県内	県外	合計
1人	0人	0人	1人

3. ご意見の要旨と本市の考え方

1		
ご意見の要旨	本市の考え方	該当箇所
<p>① 市内に図書館が6館ありますが、大小の差はあるものの、各館の蔵書の中身に特色が見受けられません。これからは、例えば栃木図書館を基幹図書館として専門書・個人全集に力を入れ、大平図書館では児童書を拡充していくなど各図書館の差別化を図ったり、収集分担を実施し相互利用を行うことで、限られた予算の有効活用につなげたりしてはどうでしょうか？</p>	<p>計画策定の目的(P1)にありますとおり、第1期計画では、均一したサービスを提供することを早急に進めることを課題の一つとして進めてまいりました。その中で、最も規模が大きく本市の中央に位置している栃木図書館を中央図書館としての機能を持った運営(P2)を、また、大平図書館では、障がい者向け資料が充実していることから、本市の障がい者サービスの拠点館として位置付け、特色を持たせた運営を始めたところでは、</p> <p>第2期計画では、基本方針2の図書資料の充実の②図書資料の収集方針(P23)において分野別の収集目標を設定し、計画的な資料収集に努めてまいります。特に、③地域資料の収集方針(P24)では、各地域の図書館としてその地域の特色あるテーマに関する資料の収集に努め、各図書館の特色づくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>こうした収集分担により6館の協力体制のもと、資料の相互利用を行うことで、予算の有効活用につなげてまいります。</p>	<p>基本方針2 (P23-24) 「②図書資料の収集方針」及び 「③地域資料の収集方針」</p>
<p>② 市内に外国の方が多割に図書館の利用は少ないように見受けられます。英語が母国語ではないようですが、少なくとも英語で表記・翻訳した日本の法律関係や日本文化・宗教関係の資料の充実を提案します。</p>	<p>ご意見のとおり、市在住の外国の方が増加している状況にあります。その中で、本市の外国語資料サービス(P14)では、諸外国・日本の文化等に関する資料の収集・提供に努めていますので、ご指摘の資料につきましても収集してまいります。</p>	<p>図書館サービスの現状 「(14)外国語資料サービス」 (P7)</p>

ご意見の要旨	本市の考え方	該当箇所
<p>③ 学生・生徒は本を読まない傾向が顕著のようです。</p> <p>市内には高校が 8 校と特別支援学校がありますので、高校の図書館と連携してその対策を考えていくべきでないかと思えます。</p>	<p>基本方針3「子どもとともに伸びる、子どもの読書活動を推進する図書館」を挙げ、子どもの読書活動を推進するため、図書館が拠点となり実施していくものとしておりますので、市内の高校の図書館との連携について検討してまいります。</p>	<p>基本方針 3 (P27)</p> <p>「④中学生・高校生の読書活動の推進」 (P28)</p>